

令和2年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	4	議席 番号	4	氏名	辻 村 岳 瑠 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	災害時の逃げ遅れの心理について (集中豪雨・台風から市民の命を守る)			<p>なぜ人は逃げ遅れるのか。どうして命を守る行動がとれなかったのか。災害時に働く逃げ遅れの心理から命を守る行動へと促す情報発信について、市のソフト面とハード面について伺います。</p> <p>(1) 同報無線のデジタル化への切り替えをしています。そのことから避難勧告・避難指示は同報無線を主にしていると考えますが、切り替えまでの期間と必要予算について伺います。</p> <p>(2) 家の気密性が高まり、集中豪雨や台風では屋外同報無線は聴き取りがしにくい。また放送頻度が高くなっており騒音の課題がつきものです。市では防災ラジオの配布等していますが、現在の防災ラジオはデジタル対応のものではないため、普及率も含めた今後の市の対応について伺います。</p> <p>(3) 災害時要援護者の取組により、災害弱者への対応がなされています。昨年の台風19号の避難状況から、災害時要援護者支援活動の実績について伺います。</p> <p>(4) 災害時のバイアス（正常性バイアス・多数派同調バイアス）に対応した釜石の奇跡。 市でも「率先避難者たれ」の教育を参考にできないでしょうか。防災教育について伺います。</p> <p>(5) SNSアプリケーションLINE（ライン）による避難勧告・避難指示の導入について。 近隣市町では導入実績があり、市長自らが動画配信することで、正常性バイアスに働きかける取組がなされています。市のお考えを伺います。</p> <p>(6) FMラジオの電波を使った、新防災ラジオの検討がなされているかどうか。富士市との連携、当市の地域性を考えたときの導入時のメリットとデメリットについて市のお考えについて伺います。</p>		市長 関係部長